

令和 5 年度
県立中学校入学者選抜

適性検査 I

時間 45 分
(10 : 00 ~ 10 : 45)

注 意

- 1 この用紙は「始めなさい」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 用紙は全部で 9 枚あります。指示にしたがって用紙の右下のすみをめくり、枚数を確認しなさい。枚数が不足していたら、だまって手をあげなさい。
- 3 すべての用紙の右上の決められた欄に、受検番号を書きなさい。
- 4 筆記用具や定規の貸し借りはいけません。
- 5 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 6 「始めなさい」の合図で用紙を開き、解答を始めなさい。
- 7 印刷が悪いとき、筆記用具や定規を落としたとき、用紙が破れたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 8 「やめなさい」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。また、この用紙は 1 枚目を上にして机の上に置きなさい。
- 9 この用紙を持ち帰ってはいけません。

答えの書き方

- 1 答えは、問題の指示にしたがって書きなさい。
- 2 答えを求めるための筆算は、答えを書く欄以外の空いている部分を使いなさい。
- 3 答えはていねいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。

1 たろうさんたちは、平安時代の政治や文化について調べています。



この時代は、貴族が大きな力をもっていた時代だったね。この時代に関係した人物について、**資料1**のカードにまとめてみたよ。

資料1 平安時代の政治や文化に関係した人物についてまとめたカード

検査時にはここに写真が入る。	人物 ふじわらの みち なが 藤原道長	自分のむすめを（ A ）と結婚させ（ A ）とのつながりを強くし、大きな力をもって政治を進めた。藤原氏などの貴族たちは、自分がくらす建物を中心に、たくさんの建物や大きな庭、池が配置された（ B ）という広い立派な屋しきでくらしていた。
検査時にはここに写真が入る。	人物 （ C ）	和歌をよむことや文章を書くことにすぐれた才能があった女性で、「源氏物語」を書いた。貴族のむすめの世話をしたり勉強を教えたりして朝廷に仕えた。（ C ）をはじめ、朝廷に仕えた女性の正装は（ D ）とよばれ、何枚もの着物を重ねて着ていた。

(1) **資料1**の中のA～Dにあてはまる言葉を、下の□にそれぞれ書きましょう。

A		B
C		D



「源氏物語」は平安時代に作られた文字で書かれたようだね。文字について調べていたら、**資料2**と**資料3**を見つけたよ。

資料2 奈良時代に書かれた文字

検査時にはここに写真が入る。



資料2を見ると、漢字で書かれているね。漢字などの文化や様々な技術が（ E ）から伝わってきたよ。**資料3**は、「源氏物語」で使われている文字と同じようだよ。

資料3 平安時代に書かれた文字

検査時にはここに写真が入る。



どうして、**資料3**のような文字が使われるようになったのかな。



平安時代の中ごろに（ E ）から多くの文化を伝えた（ F ）がはい止されたこともえいきょうして、新たに日本の風土に合った文化が生まれたよ。そして、日本独自の文字として、**資料3**のような（ G ）文字が使われるようになったのよ。

(2) ひとみさんが話すE～Gにあてはまる言葉を、下の□にそれぞれ書きましょう。

E		F
G		



平安時代までに書かれた **資料4** の5つの書物を見つけたよ。
書物の特ちょうをもとに、2つに分けてみたよ。

資料4 たろうさんが見つけた5つの書物

ア げんじ 源氏物語 イ ふどき 風土記 ウ 日本書紀 エ まくらのそうし 枕草子 オ 古事記

(3) たろうさんは、書物の特ちょうをもとに、**資料4** のア～オの5つの書物を2つに分けました。下の表のそれぞれの にあてはまる記号をすべて書き、表を完成させましょう。

表 たろうさんが考えた分け方

特ちょう	検査時には ここに図が入る。	検査時には ここに図が入る。
書物		

資料5 ふじわらのみちなが 藤原道長が書いた日記の一部



資料5 も見つけたよ。



資料5 には、年中行事のくわしい様子や、行事がくり返されていることが書かれているね。年中行事とは、貴族がしていた行事や儀式ぎしきのことで、**資料6** のように1年を通してたくさんあったようだね。

検査時には
ここに図が入る。



藤原道長は、「重要なことは、日記をつけるように」というおじいさんの教を守って、日記を書き続けたそうだよ。

資料6 平安時代の主な年中行事

検査時には
ここに図が入る。

(4) たろうさんが話す 線部について、藤原道長のおじいさんが日記をつけるように教えた理由を、**資料5** と **資料6** をもとに考え、下の に書きましょう。

2 たろうさんたちは、日本の近くの海で行っている漁業について話しています。

資料1 日本の漁業別
生産量の割合

資料2 海流の様子と日本で
水あげされる主な水産物

資料3 日本のまわりの海の深さ

検査時には
ここに図が入る。

検査時には
ここに図が入る。

検査時には
ここに図が入る。



資料1を見ると、日本の近くの海で漁をする沖合漁業や沿岸漁業の生産量の割合が、合わせて70%になっていることが分かるね。日本の近くの海で漁をする理由を考えてみよう。

理由の1つは、海流が関係しているのよ。資料2を見ると、(ア)と(イ)は寒流、(ウ)と(エ)は暖流ともいうわ。特に、日本の近くの海で寒流と暖流がぶつかる場所にはたくさんの魚が集まるのよ。



(1) お母さんが話すア～エにあてはまる言葉を、下の□にそれぞれ書きましょう。

ア		イ	
ウ		エ	



もう1つの理由は、日本のまわりの海の地形だよ。資料3を見ると、(オ)といわれる水深200mくらいまでの斜面の海底が広がっているよ。ここには、魚たちのえさになるプランクトンが豊富で、さらに魚たちのすみかになる(カ)がよく育ち、多くの魚たちが集まるんだ。日本の近くの海は、海流と地形のえいきょうで、とてもよい漁場となっているんだよ。

(2) お父さんが話すオとカにあてはまる言葉を、下の□にそれぞれ書きましょう。

オ		カ	
---	--	---	--



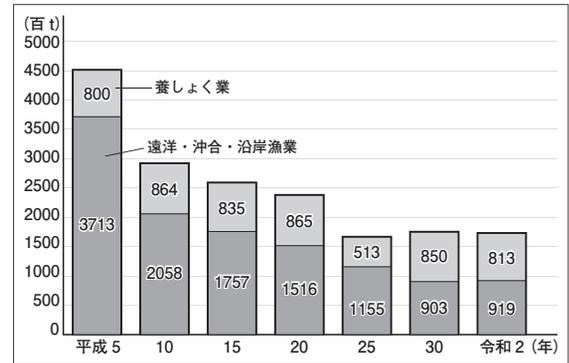
資料4 を見つけたよ。平成25年の養しよく業の生産量だけ極たんに少ないね。



平成25年は海水温度が高く、養しよく業のほたて貝が大量に死んでしまったんだ。そのような特別な年もあるけれど、平成5年から令和2年までのグラフを見ると、青森県の海面漁業生産量の変化の様子分かるね。

資料4 青森県の海面漁業生産量

※海面漁業…海でする漁業のこと



【海面漁業生産統計調査より作成】

(3) 青森県の海面漁業生産量の変化の様子について、**資料4** から分かることを2つ考え、下の にそれぞれ書きましょう。



八戸市に住んでいるおばあちゃんを送ってくれた「八戸前沖さば」のかんづめを見たら、**資料5** のような説明が書いてあったよ。



八戸市にあるブランド推進協議会という団体が、水あげされたさばの重さや脂肪分を検査し、条件を満たした期間だけ、「八戸前沖さば」と認定するんだよ。認定した期間に水あげされたさばの商品には、シールやマークをつけているんだ。消費者にとっても生産者にとっても、さばを検査して認定することでよいことがあるんだよ。

資料5 かんづめに書かれた説明

ブランド推進協議会が認定した期間に八戸港に水あげされたさばです

検査時にはここに写真が入る。

検査時にはここに写真が入る。

資料6 八戸港に水あげされたさばが消費者に届くまで

検査時にはここに図が入る。

資料7 ブランド推進協議会の方のインタビュー記事

検査時にはここに図が入る。

(4) さばを検査して認定することでどのようなよいことがあるのか、**資料6** と **資料7** をもとに、消費者と生産者の立場で考え、下の にそれぞれ書きましょう。

消費者	
生産者	

3

たろうさんの学校では、12月に3年生を対象にしたクラブ発表会があります。3年生はその発表を聞いて、自分が入りたいクラブを決めます。たろうさんは、「スポーツクラブ」の活動内容をしょうかいするため、**発表原こう**を書きました。

【たろうさんが書いた発表原こう】

スポーツクラブの活動内容をしょうかいします。

スポーツクラブでは、いろいろなスポーツを行っています。今日は、わたしたちが夢中になった二つのスポーツをしょうかいします。

一つ目は、スポーツチャンバラです。頭や顔を守る道具を身に着け、ぼうのような道具で対戦相手と打ち合って勝負を決めるスポーツです。相手とのかけひきが楽しくて、とてもおもしろいよ。

二つ目は、ソフトボールです。グローブなどの道具は学校にあるものを使います。ボールを打つことはなかなかむずかしいのですが、強打して、遠くまでボールを飛ばせたときは気持ちがよいです。

だから、4年生になったらぜひ、スポーツクラブに入ってください。



たろう

ぼくが発表原こうを書いたので、今度はようこさんがこの原こうで読む練習をしてみしてほしいな。



たろう

読んでみたら、 線部アとイの言葉は少し自信がなかったよ。

では、読みまちがえないように、読みがなを書いておくとよいね。



ようこ

- (1) たろうさんが書いた発表原こうのア、イの 線部の読みがなを下の にそれぞれ書きましょう。

ア	イ
---	---



ひとみ

 線部ウとエの漢語表現は3年生にとって意味が分かりにくいから、和語にしたらどうかな。

- (2) たろうさんが書いた発表原こうのウ、エの 線部を和語にし、下の にそれぞれ書きましょう。

ウ	エ
---	---



ともこ

文末がていねいな表現ではない一文があるから、ていねいな表現に直したほうがよいと思うよ。

- (3) たろうさんが書いた発表原こうの中から、文末をていねいな表現に直した方がよい一文をさがし、下の にていねいな表現に直した一文を書きましょう。

4 ともこさんたちは自分の生活をふり返り、「わたしの健康宣言」という作文を書いています。



さちこさん、わたしたちも卒業した6年生の「わたしの健康宣言」のAやBの書き方を参考にして作文を書きましょうよ。

【卒業した6年生の「わたしの健康宣言」】

<p>A わたしは、 ア を宣言します。</p> <p>わたしは、朝あまり食よくがなく、ときどき朝食をとらない日があります。そんな日はおなかが減って、授業に集中できないことがあったので、この宣言にしました。</p> <p>具体的に、毎日朝食をとることができるように、夕食をとった後は、おやつを食べないようにします。</p> <p>食育の学習では、毎日朝食をとる児童は学力が高いと学習しました。毎日朝食をしっかりとすることで、集中力が増して学力が向上すると思います。</p> <p>これからは、毎日朝食をとるようにがんばります。</p>	<p>B わたしは、 イ を宣言します。</p> <p>わたしは、ねる時刻がおそく、朝はなかなか起きることができません。この前は、家を出る時刻もおそくなり、楽しみにしていた行事に間に合わないということもあったので、この宣言にしました。</p> <p>具体的に、これからはおそくても夜10時までねて、朝6時に起きるようにします。</p> <p>「早起きは三文の徳」ということわざがあります。これまでの生活を改ため、早ね早起きを続けることで、毎日元気にすごすことができると思います。</p> <p>「善は急げ」です。今日から早ね早起きを続けるようにがんばります。</p>
---	---



Bの中に送りがなの使い方を直した方がよい言葉が一つあるわ。

さちこ

(1) さちこさんが話す送りがなの使い方を直した方がよい言葉をさがし、直した方がよい言葉と正しい送りがなの言葉を下の に書きましょう。

直した方がよい言葉	正しい送りがなの言葉
-----------	------------



Bでは、ことわざを引用しているね。「善は急げ」の意味は、 だったね。

ともこ

(2) 「善は急げ」の意味を下の に書きましょう。



AやBの書き方の工夫を下のようにならべてみたよ。

さちこ

【書き方の工夫】

- ・Aは、取り組むこととして ア を挙げ、期待できる効果の説得力を高めるために、学習したことをもとにして書いている。
- ・Bは、取り組むこととして イ を挙げ、期待できる効果の説得力を高めるために、ことわざを引用して書いている。

(3) 書き方の工夫のA、イに入る10字以上15字以下の言葉をA、Bの中からさがし、下の に書きぬきましょう。

ア	
イ	

